

芝生用除草剤

ポアキュア

ポアキュアは(株)エス・ディー・エスバイオテックの登録商標です。

包装:100ml×10本入り

◆ メチオゾリン乳剤 ◆



グリーンに発生するスズメノカタビラ、メヒシバ対策に!

製造
販売元



株式
会社

エス・ディー・エスバイオテック

東京都中央区東日本橋一丁目1番5号

ポアキュアの特長

グリーンに発生するスズメノカタビラ、メヒシバに卓効

これまで悩まされてきたグリーン内のスズメノカタビラやメヒシバを効果的に防除します。

発生後のスズメノカタビラにも高い効果

発生前だけではなく、発生後のスズメノカタビラに対しても優れた効果を発揮します。

各種芝に対して安全性が高い

西洋芝(ベントグラス、ケンタッキーブルーグラス)、日本芝(こうらいしば)に適用があり、ベントグリーン内及びグリーン周りでも安全に使用することができます。

◆ ポアキュアの作用について ◆

有効成分メチオゾリンは、細胞壁の生合成を阻害することで殺草作用を示すと考えられています。

1 吸収部位

【スズメノカタビラに対する処理部位別の効果】

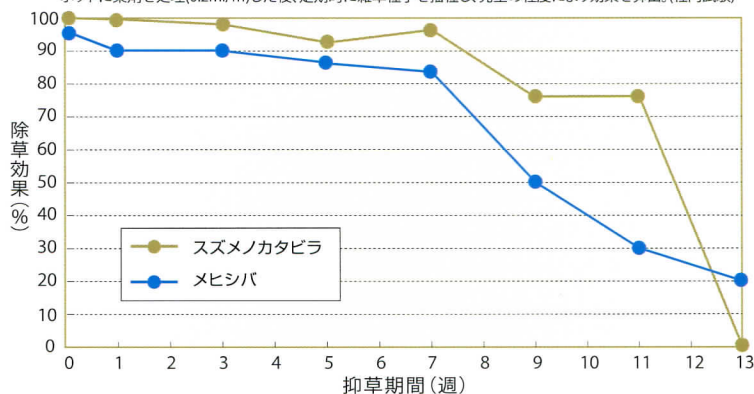


主に植物の根部から吸収され、地上部からはほとんど吸収されません。適用範囲内で散布水量を増やすか、後散水を行うことで効果が安定します。

2 抑草期間

【スズメノカタビラ、メヒシバに対する抑草期間】

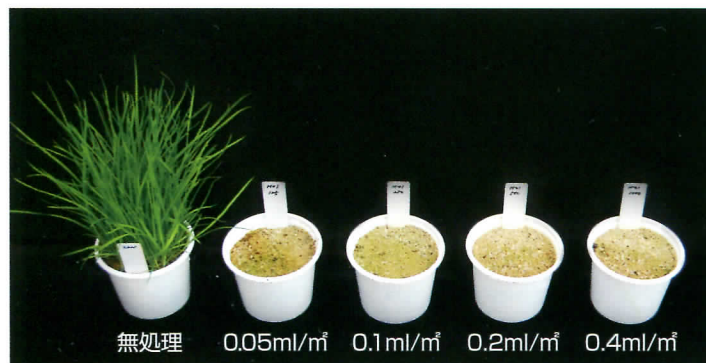
ポットに薬剤を処理(0.2ml/m²)した後、定期的に雑草種子を播種し、発生の程度により効果を算出。(社内試験)



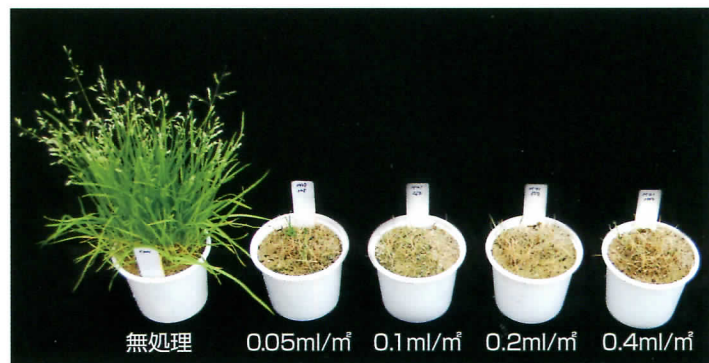
本試験では、7~11週程度の抑草効果が認められています。ただし、気象や土壌等の条件により、実際の残効期間は変動します。

3 生育時期別のスズメノカタビラに対する効果

【発生処理前】

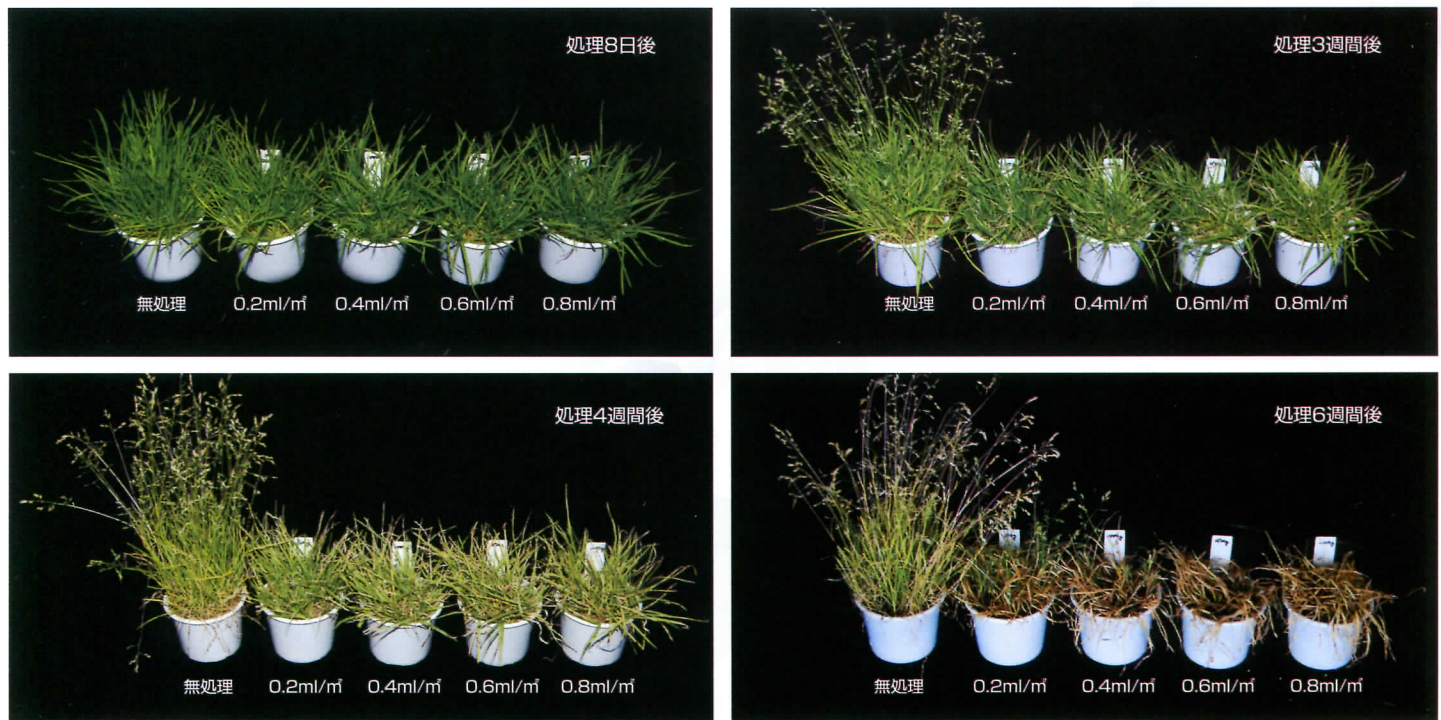


【2~3葉期処理】



発生前だけではなく、発生後のスズメノカタビラに対しても効果を示します。(メヒシバに対しては発生前の方に適用があります)

4 スズメノカタビラに対する効果の発現



茎葉部が徐々に退色していき、黄色からやがて褐色(ネクロシス症状)を経て枯死に至ります。効果の発現は非常に遅効的で枯死に至るまでに1ヶ月以上かかる場合もあります。原則として1回目の散布から2回目の散布までの処理間隔は1ヶ月以上空けてください。

5 ベントグラスに対する安全性(品種間差)

ベントグラスの品種別の感受性差はほとんどありません。

◆ 公的試験機関による試験結果 ◆

(公財)日本植物調節剤研究協会 実施試験(2009年~2014年)

(抜粋)

		試験機関	試験場所	処理日	処理量	散布水量	除草効果	1回目処理から調査日までの日数	薬害	
スズメノカタビラ	発生前	泉パークタウンゴルフ倶楽部	同ゴルフ場	1回目	2009年10月17日	0.2ml/m ²	200ml/m ²	極大	67	—
				2回目	2009年11月24日	0.2ml/m ²	200ml/m ²			
		東日本グリーン研究所	神奈川県ゴルフ場	1回目	2010年10月11日	0.2ml/m ²	250ml/m ²	大	58	—
				2回目	2010年11月8日	0.2ml/m ²	250ml/m ²			
		関西グリーン研究所	研究所内圃場	1回目	2010年10月12日	0.2ml/m ²	200ml/m ²	大	115	—
	2回目			2010年11月15日	0.2ml/m ²	200ml/m ²				
	新中国グリーン研究所	山口県ゴルフ場	1回目	2010年9月29日	0.2ml/m ²	200ml/m ²	極大	50	微	
			2回目	2010年10月19日	0.2ml/m ²	200ml/m ²				
	発生初期	東日本グリーン研究所	茨城県ゴルフ場	1回目	2013年11月6日	0.2ml/m ²	200ml/m ²	極大	※(120日程度)	—
				2回目	2013年12月3日	0.2ml/m ²	200ml/m ²			
関西グリーン研究所		兵庫県ゴルフ場	1回目	2013年11月8日	0.2ml/m ²	200ml/m ²	極大	※(60-90日程度)	—	
			2回目	2014年1月16日	0.2ml/m ²	200ml/m ²				
新中国グリーン研究所		岡山県ゴルフ場	1回目	2013年11月14日	0.2ml/m ²	200ml/m ²	大	※(120日程度)	—	
	2回目		2014年2月17日	0.2ml/m ²	200ml/m ²					
植調福岡試験地	福岡県ゴルフ場	1回目	2013年10月15日	0.2ml/m ²	300ml/m ²	極大	※(30日以上)	—		
		2回目	2013年11月24日	0.2ml/m ²	300ml/m ²					

※抑草期間

メヒシバ	発生前	東日本グリーン研究所	茨城県ゴルフ場	1回目	2011年4月13日	0.2ml/m ²	250ml/m ²	極大	60	—
				2回目	2011年5月18日	0.2ml/m ²	250ml/m ²			
		関西グリーン研究所	研究所内圃場	1回目	2011年4月19日	0.2ml/m ²	250ml/m ²	極大	61	—
				2回目	2011年5月20日	0.2ml/m ²	250ml/m ²			
		新中国グリーン研究所	広島県ゴルフ場	1回目	2012年5月7日	0.2ml/m ²	200ml/m ²	極大	56	—
				2回目	2012年6月4日	0.2ml/m ²	200ml/m ²			

◆ ベントグリーンにおける使用上の注意点 ◆

ベントグラスとスズメノカタビラの選択性は、吸収能力や代謝能力の違いによって生じると考えられていますが、ベントグラスの吸収・代謝能力は生育状況によって大きく異なります。

特に夏期高温期のストレスを受けたベントグラスや、その後の回復に向け吸収能力が高まっているベントグラスにポアキュアを処理すると、薬害を生じる場合があります。

従って処理時期や薬量については、それぞれのコースにおける事前試験により、確認する必要があります。

宮城県ゴルフ場 (練習グリーン/品種:ペンリンクス)

処理日:2015/10/3 薬量:0.3ml/m² 水量:250ml/m²

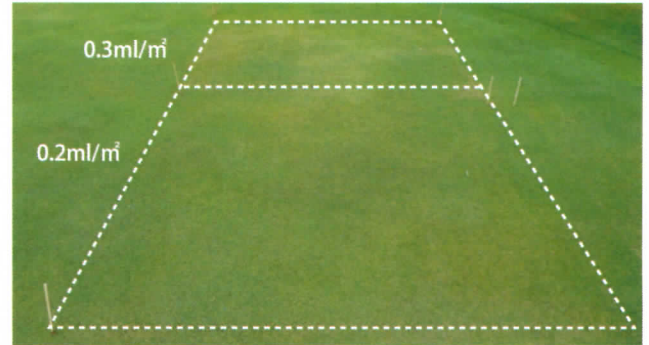


撮影日:2015/11/5

処理3週間後からベントグラスが黄化し、生育が衰退。

静岡県ゴルフ場 (ナーセリー/品種:ペンクロス)

処理日:2011/10/3 薬量:0.2ml/m², 0.3ml/m² 水量:200ml/m²



撮影日:2011/10/19

夏場のストレスからベントグラスが十分に回復していない場合が多いため注意が必要。

浸透剤とポアキュアの混用は薬害が発生する場合がありますので避けてください。

また、生育調節剤などの農薬や肥料・資材等との混用についても十分な知見が得られていないため、ポアキュアを処理する際には単用での使用をおすすめします。

サッチ層が厚い場合は、効果の安定を図るために登録範囲内で薬量・水量の調節が必要となる場合があります。

また、サッチ層が極端に薄いグリーンでの使用については、十分な注意が必要です。

◆ ベントグリーン内スズメノカタビラに対する処理事例 ◆

北海道ゴルフ場 (サブグリーン/品種:ペンクロス)

処理日:2015/9/29,10/19 薬量:0.2ml/m²+0.2ml/m² 水量:250ml/m²

結果:甚発生グリーンで極大の効果を示し、薬害は無かった。



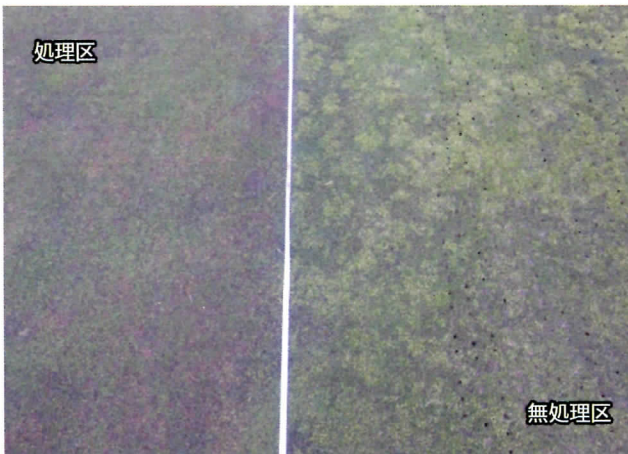
撮影日:2016/5/24

◆ ベントグリーン内スズメノカタビラに対する処理事例 ◆

茨城県ゴルフ場 (ナーセリー/品種:ペンクロス)

処理日: 2013/12/24, 2014/2/8 薬量: 0.3ml/m²+0.2ml/m² 水量: 200ml/m²

結果: 甚発生 of グリーンで極大の効果を示し、薬害は無かった。



撮影日: 2014/3/18



撮影日: 2014/6/18

愛知県ゴルフ場 (ナーセリー/品種:ペンクロス)

処理日: 2013/11/13, 12/20 薬量: 0.2ml/m²+0.2ml/m² 水量: 250ml/m²

結果: 甚発生 of グリーンで極大の効果を示し、薬害は無かった。



撮影日: 2014/6/2

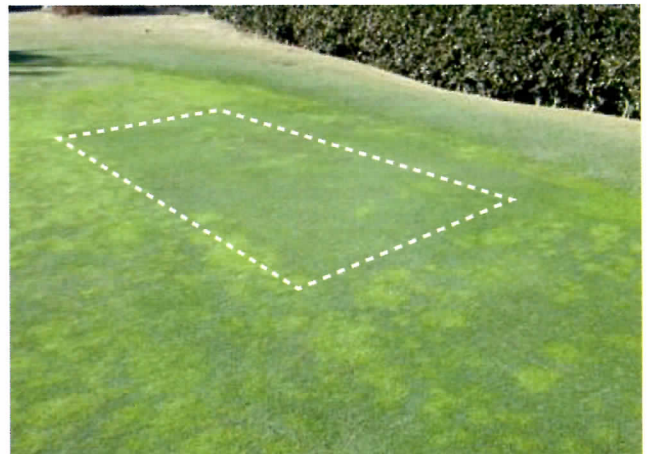
愛知県ゴルフ場 (練習グリーン/品種:ドミネント)

処理日: 2013/12/12, 2014/1/24 薬量: 0.3ml/m²+0.2ml/m² 水量: 250ml/m²

結果: 処理後1年以上経過しても、密度低減効果が持続している。



撮影日: 2014/5/22



撮影日: 2015/3/24

ご使用にあたっては

- ラベルをよく読む。●記載以外には使用しない。●小児の手の届く所には置かない。●空容器は圃場に放置せず、3回以上水洗し、適切に処理する。●洗浄水はタンクに入れる。

適用雑草と使用方法

2016年8月現在

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	メチオズリンを含む農薬の総使用回数
			薬量	希釈水量			
西洋芝 (ベントグラス)	メヒシバ	春夏期 雑草発生前	200~400 mℓ/10a	200~300 ℓ/10a	4回 以内	全面 土壌 散布	4回 以内
	スズメノ カタビラ	秋冬期 雑草発生前 ~発生初期					
秋冬期 雑草発生前							
西洋芝 (ケンタッキー ブルーグラス)	メヒシバ	春夏期 雑草発生前					
日本芝 (こうらいしば)							

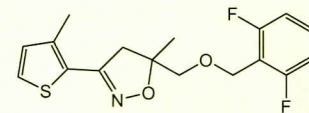
ポアキュアの製品概要

種類名：メチオズリン乳剤

有効成分の種類及び含量：メチオズリン.....25.0%

[(5RS)-5- [(2,6-ジフルオロベンジルオキシ)メチル]-4,5-ジヒドロ
[-5-メチル-3-(3-メチル-2-チエニル)-1,2-オキサゾール
有機溶剤等.....75.0%
[ドデシルベンゼンスルホン酸カルシウム (PRTR・1種)最大 2.9%]

メチオズリンの構造式



性状：淡黄色澄明可乳化油状液体

安全性(製剤)：

人畜毒性	経口	ラット	LD ₅₀ >2000mg
	経皮	ラット	LD ₅₀ >2000mg
水産動植物に対する影響	コイ		LC ₅₀ 3.605mg /L(96hr)
	オオミジンコ		EC ₅₀ 11.7mg /L(48hr)
	藻類(緑藻)		ErC ₅₀ 7.6mg /L(0-72hr)

包装：100mℓ×10本

危険物：第4類 第二石油類 危険物等級Ⅲ(火災厳禁・石油ナフサ含有)

△効果・薬害等の注意

- 散布液調製後は速やかに使用する。
- 生育の進んだ雑草には効果が劣るので、時期を失しないように散布する。
- 夏期の高温ストレス等により芝(特に根部)の生育が劣っている場合は、一時的に黄変等の薬害を生じることがあるので十分注意する。
- 200mℓ/10aの薬量を散布する場合は、反復処理することで効果が安定する。反復処理する際は、1回目の処理後1ヶ月以上間隔をあけて2回目を処理する。
- 土壌が乾燥している場合には効果が劣ることがあるので、希釈水量を多めに散布する。
- 激しい降雨が予想されるときには使用をさける。
- 使用方法を厳守する。特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受ける事が望ましい。

△安全使用上の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきる。空容器は圃場などに放置せず適切に処理する。

- 散布液調製時及び散布時は保護メガネを着用し、薬剤が眼に入らないよう注意する。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。使用後は洗眼する。
 - 散布液調製時及び散布時は不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣などを着用し、薬剤が皮ふに付着しないよう注意。皮ふに付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落とす。
 - 公園などで使用する場合、散布区域に縄囲いや立て札をたて、散布中および散布後(最小限その当日)に関係者以外は立ち入らせない。小児、人畜等に留意する。
 - 危険物第四類第2石油類に該当するので火気には十分注意する。
 - 移送取扱はていねいに行う。火災時は適切な保護具を着用し消火剤等で消火に努める。漏出時は保護具を着用し布・砂等に吸収させ回収する。
- 保管・・・密栓し、火気をさけ、食品と区別して、直射日光のあたらない冷涼な所。

製造場 大韓民国 ジョンラプク道 イクサン市 ナンサン面 サンダングピョンギル 125-22 韓国三共株式会社 イクサン工場

この印刷物の記載内容は2016年8月現在のものです。

16.8.3500(NU)

ポアキュア協議会

販売 出光アグリ株式会社
営業部：TEL 03-6848-6182

販売 MBC 丸和バイオケミカル株式会社
ユニカス事業部：TEL 03-5296-2340

事務局 エスティーエスバイオテック

取扱い